

2021年度神戸女学院大学 女性学インスティテュート主催 特別講演会



落合恵美子教授(京都大学大学院文学研究科)

日本はなぜ子育てが世界一たいへんな国になったのか

戦後日本社会の変化や、アジアおよびヨーロッパの国々との比較により、またわたし自身の体験にも触れながら、日本はなぜ子育てが世界一たいへんな国になったのかについての30年にわたる研究の成果をお話します。

- **日時: 6月4日(金) 10:35~11:25**(後日WEB配信予定)
- **場所: 講堂**(エミリー・ホワイト・スミス記念講堂)

<講師プロフィール>



講師: 落合恵美子

東京大学大学院博士後期課程単位取得退学。
同志社女子大学講師、国際日本文化研究センター助教授等を経て、
2004年より京都大学大学院文学研究科教授。
現在、京都大学アジア研究教育ユニット長、アジア親密圏/
公共圏教育研究センター長。日本学術会議連携会員。
ケンブリッジ大学客員研究員、ブレース・パスカル国際研究職(社会科学高等研究院所属)
等を務めた。専門分野はジェンダー、家族、人口の歴史的変容と国際比較。近年は家族政
策・国際人口移動に関するアジアとヨーロッパ諸社会の比較研究に力を入れている。著書・編
著書に、『21世紀家族へ(第4版)』(有斐閣、2019)、『変革の鍵としてのジェンダー』(共編、ミ
ネルヴァ書房、2015)、『アジア女性と親密性の労働』(共編著、京大出版会、2012年、Brillより
英語版)、『親密圏と公共圏の再編成ーアジア近代からの問い』(編著、京大出版会、2013年、
Brillより英語版)、
『アジアの家族とジェンダー』(編著、勁草書房、2007年)、*Asia's New Mothers* (co-editorship,
Global Oriental, 2008)、『21世紀アジア家族』(共編著、明石書店、2006年)など。最近著とし
て、アジアの重要文献を集めた*Asian Families and Intimacies*, 4 vols. (co-editorship, Sage,
2021)を刊行した。*The Intimate and the Public in Asian and Global Perspectives* (Brill)のシリー
ズ編者を務める。

<参加方法>

【来場について】

※新型コロナウイルスの感染状況の影響によって、遠隔からの講演となる可能性があります。ご了承ください。

事前申込みは不要です。

【配信について】

配信期間: 6月11日(金)~7月9日(金) (予定)

Moodleで視聴ください(チャプレン室コース)。

<https://moodle3.kobe-c.ac.jp/moodle/course/view.php?id=1391>

<問い合わせ先>

神戸女学院大学女性学インスティテュート [TEL:0798-51-8545](tel:0798-51-8545)

E-mail: ws-i-o@mail.kobe-c.ac.jp